

# 平成26年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号

平成26年6月9日  
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病（本年度2回目）
- 3 対象地域：中通り・会津
- 4 発生量：多い

今後、雨・風に伴い、激発するおそれがあります。防除対策を徹底しましょう！

## 予報の根拠

- (1) 5月下旬の調査において、福島地域、伊達地域ともに春型枝病斑の発生ほ場割合が平年よりも高かった（図1）。また、中通りの他地域と会津地域でも発生が確認された。
- (2) 6月上旬の調査において、福島地域、伊達地域ともに新梢葉での発生ほ場割合が平年よりもかなり高かった（図2）。
- (3) 東北南部は、平年より7日早い6月5日に梅雨入りしたものとみられ（速報値）、東北地方の1か月予報（6月5日仙台管区气象台発表）では、平年同様に曇りや雨の日が多いと予想されている。

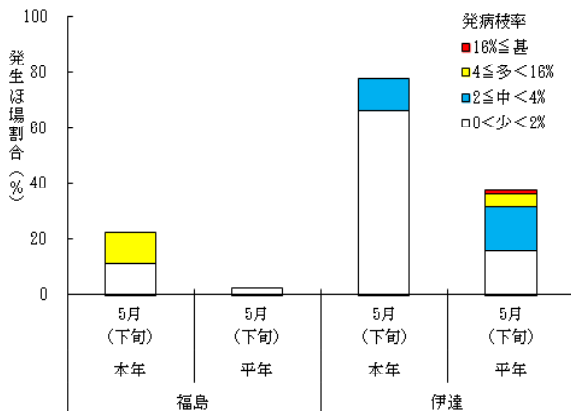


図1 春型枝病斑の発生状況(5月下旬)

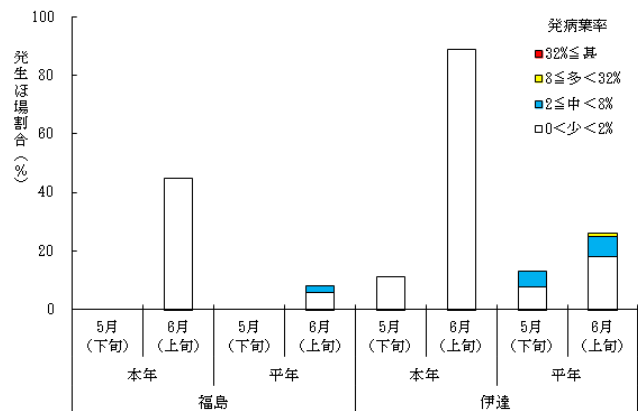


図2 新梢葉での発生状況  
(5月下旬～6月上旬)

## 防除対策

### (1) 耕種的防除

ほ場での発生状況をよく確認し、春型枝病斑は見つけしだいせん除して適切に処分する。また、被害葉や被害果実は二次伝染源となるので、見つけしだい除去して適切に処分する。

果実被害が懸念されるほ場では、6月15日頃までに袋かけを行う。

### (2) 薬剤防除

予防的散布を基本に、降雨の前には必ず薬剤散布を実施する。また、梅雨期を迎えたため、天候に留意しながら、7月まで10日ごとに薬剤散布を行う。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意する。なお、同一薬剤の連用は耐性菌の出現リスクを高めるので、連用せずにローテーションで使用する。

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)までご連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727